



## mikan

単語音声の和訳を4択で選ぶシンプルな英単語アプリ。とりあえず1000語など意味を入れるのに手軽で便利。



## スタディプラス

学習管理アプリ。mikanと連動もしていて、友人と日々の学習状況を共有したり、競ったりすることもできる。



## ELSA speak

英語発音アプリ。日毎に練習メニューが出るので継続しやすい。やや上級者向け。



## スピークバディ

AIとの英会話ができるアプリ。オンライン英会話などと違い、初心者のうちから気楽に取り組める。音声認識精度は高い。



## RedKiwi

Netflixやアニメなどの音声をリスニング、シャドーイングの素材にしている取り組みやすい。



## Real英会話

ネイティブが選ぶ英語例文集で、いろいろなフレーズを吸収しやすい。



## スタディサプリENGLISH

日常英会話、旅行英会話などに取り組み、手軽で継続しやすさにも定評がある。一貫校の通塾なし派にはZ会が人気だが、通常のスタディサプリ併用者も割という。



## ことまなS

NEW CROWN対応。アプリとしての使い勝手はそれほど良くはないが、教科書準拠でひとつひとつ学べるのは良い。

## 入学に向けた学習

学習時間の確保	1日2～3時間は確保して学習に取り組む力を落とすぎない方が、入学後に楽。 学校に慣れてきてGWが終わればすぐに中間試験 午前中からの授業に集中することも考え、午前中に一定量→あとはフリーでも良い。
英語	英語耳かフォニックスを用いて発音練習をしておく。 中学で扱う動詞一覧などから、過去形、過去分詞の変化までひとつひとつ覚える。 この際には例文も一緒に覚えてしまおうとなお良い。 教科書を入手したら、通読→語彙調べ、文法事項の確認、音読、暗唱などを進める。 アプリの活用、基礎英語や一行日記も毎日継続できるとプラスになる。
英検	未取得の場合、英検サイトの過去問を試し、どこからスタートするか決める なるべく書店でやりやすく感じるテキストを選ぶ 最初の検定は従来型なら6月、S-CBTなら5～7月に受検予定を組む 取得済みで間隔が空いている場合は、既習レベルの総復習から
数学	体系数学1を完璧レベルまで仕上げるのが理想だが、最低限は代数～3章、幾何～2章。 2周して十分に正解できるようになったら、体系問題集などを使うのも良い。

## 災害時の備え

登下校時の緊急避難校ネットワーク	部活後や塾の後など、夜の場合は家を目指すとは危険な状況もあるので、色々な状況を想定しておくが良い。通学路線の途中駅から目指せる私学は避難場所にも良い。
公衆電話等からのSMS送信	スマホ充電切れなどの場合、公衆電話からでも家族のスマホなどにSMSを送信できる。 通話が繋がらない時もSMSなら送信しておけるので、操作も試しておくが良い。
所持品	上記のマップと定型文、常備薬、生理用品、飲みもの、飴、LEDライト、小銭

## 人生観を伝える機会

困った時の対処	体調面のこと、新生活は楽しくてもストレスは高い 生理や睡眠など、不調への対処 通学時のトラブルや友人関係の困りごとなどへの対処
大学進学や進路	中高生活を満喫することと、積み上げていくことの両立
資産形成	お金や人生設計の話